



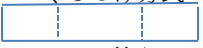


6. 本時案

(1) 本時目標 複合図形の求め方を考えるを通して、どの考え方も既習の長方形や正方形の面積の求め方を基にしていることに気づき、説明することができる。

学習活動	主な支援・留意点【評価】
<div style="text-align: center;">  <p>みたいな面積の求めかたを考えよう</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;"> <p>たし算をしているわけ</p> <p>たてわけ方式</p>  <p> $4 \times 2 = 8$ $2 \times 2 = 4$ $4 \times 2 = 8$ $8 + 8 + 4 = 20$ 答え 20 cm² </p> <p>よこわけ方式</p>  <p> $2 \times 2 = 4$ $2 \times 2 = 4$ $2 \times 6 = 12$ $4 + 4 + 12 = 20$ 答え 20 cm² </p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>長方形 や 正方形 にしている</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>全体からひく方式</p>  <p>すぐ答えが出せる</p> <p> $4 \times 6 = 24$ $2 \times 2 = 4$ $24 - 4 = 20$ 答え 20 cm² </p> <p>形によってちがうんじゃない</p> <p>他の形もやってみたいな</p> <p>くっつけ方式</p>  <p> $2 \times 10 = 20$ 答え 20 cm² </p> <ul style="list-style-type: none"> 一つの式でも表すことができるんだ。 辺の長さが合わないときもあるんじゃない。 </div> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>いろいろな方法でやってみたいな</p> </div>	<p>○ペア交流をすることで一人ひとりが表現する場を確保する。また、多くの子同士が交流することで多様な考えを知る場としたい。</p> <p>○考えを整理できるよう、それぞれの考えに名前をつけていく。</p> <p>○考えを説明するときは、式の意味が理解できるように、図形に補助線を入れたり、どこの辺とどこの辺をかけたかしているのかを指しながら説明するように促す。</p> <p>○質問やわからないことを大切に、同じことでも繰り返し説明するように促す。また、隣同士で相談する時間をとり考える時間も設ける。</p> <p>○それぞれの考え方が出た後は、板書を見る時間を設け、気づいたことなどを話し合いながら共通点を見つけられるようにしていく。</p> <p>○気づいたことをノートに書く時間を確保する</p> <p>○関係しているところが視覚的にわかるように板書していく。</p> <p>○終末は、同じ問題で自分以外の考え方でやるのか、他の複合図形でやるのかを子どもに聞いて次時へとつなげる</p> <p>○学習感想を書く。</p> <p>◇自分の考えたことを発表している【関心意欲態度】</p> <p>◇それぞれの考え方を関連させて考えているか【思考・表現】</p>